

# 1. 調査の概要

## 1 調査趣旨

(1) 昭和46年度に作成した福島県診断標準学力検査問題は、教材の精選、重点化に呼応して改善を望まれてきている。

(2) 本県児童の現有学力をは握し適切な教育課程を編成し、学習指導法を改善していくための基礎資料が要求されている。

以上の二つの観点から、昭和46年度の調査につづく第2次調査として本調査を計画実施した。

## 2 調査内容

小学校第6学年 国語、社会、算数、理科

## 3 調査対象

小学校第6学年の課程終了時における学力をは握するため、別表1を対象とした。

## 4 調査方法

### (1) 標本抽出

教育事務所単位に、地域区分A、B、Cの層別比例抽出により、4教科2,000の標本を抽出し、信頼度95%、絶対的精度0.2と想定した。

### (2) 調査時期

昭和51年度 昭和51年5月上旬 中学校1年生

昭和46年度 昭和46年3月下旬 小学校6年生

## 5 分析方法

(1) コンピューターを使用し、データ処理を行なった。

(2) 各教科、各領域、小問について、平均正答率、分散分析、比率の差の検定を行なった。

(3) 変異係数により教科間の分散を比較した。

(4) 地域区分A、B、Cの学力の実態比較は、非還元抽出のためおよその傾向をは握することにとどめた。

(5) 小問の信頼度を検定するため、弁別指数 $\delta$ を求めた。

(6) 46年度と51年度の誤答傾向から指導法改善の方途をさぐった。

別表1 昭和46年度

学校地域区分	抽出数	1教科	
県北	B	108	27
	B	196	49
	A	452	113
県中	B	136	34
	A	704	176
	B	124	31
県南	B	128	32
	C	76	19
	B	140	35
会津	B	344	86
	A	408	102
	B	144	36
南会津	C	136	34
	C	208	52
	B	560	140
相双	B	240	60
	B	196	49
県北	A	140	35
計	4,440	1,110	

昭和51年度

学校地域区分	抽出数	1教科	
県北	A	216	54
	B	212	53
	C	20	5
県中	A	236	59
	B	236	59
	C	56	14
県南	A	48	12
	B	92	23
	C	12	3
会津	A	148	37
	B	116	29
	C	32	8
南会津	A	12	3
	B	16	4
	C	24	6
相双	A	52	13
	B	120	30
	C	24	6
いわき	A	168	42
	B	136	34
	C	24	6
計	2,000	500	